

平成 15 年度 内分泌かく乱化学物質環境調査結果について

県内の主要 7 河川の水質において、環境ホルモンの環境実態調査を実施しました。

その結果、6 物質が検出されました。(下表)

今回の調査結果は、全国のこれまでの調査結果の範囲内にありました。

P C B : ng/L、その他 : μg/L

検出物質	大聖寺川	動橋川	犀川	浅野川	羽咋川	御被川	河原田川	検出 下限値	主な用途
ポリ塩化ビフェニル類 (P C B)	0.13	N D	0.31	0.07	N D	N D	N D	0.01	熱媒体、ノンカーボン紙、電気製品
ニルフェノール	0.11	0.12	0.11	0.07	N D	0.07	N D	0.05	界面活性剤の原料
4-t-オクチルフェノール	N D	N D	0.02	N D	N D	N D	N D	0.01	
ビスフェノール A	0.02	0.01	0.09	0.01	N D	0.01	N D	0.01	樹脂の原料
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	0.4	0.7	N D	0.3	0.4	0.3	N D	0.3	塗料、顔料等の添加剤
ベンゾフェノン	N D	N D	0.02	N D	N D	N D	N D	0.01	医薬品の合成原料、保香剤等

注) N D は、検出下限値未満である

担当 石川県環境部環境政策課 TEL 076-225-1463
